

2023年
5月



ちばさぽ通信 Vol.55

つたえる、ひろがる、つたわる



2023 「つたえる、ひろがる、つたわる」 RDD&ウエルフェスタ

このフェスタは2017年から開催しており、難病や病氣、障害、認知症、生活に関わる市民活動を紹介し、市民に関心を持ってもらうことで、当事者や活動団体への理解促進、支援につなげていくフェスタです。

■開催日 2023年2月12日(日) 10:00~16:00

■会場 美浜保健福祉センター 2F・4F 美浜区真砂 5-15-2

■対象 子どもから大人まで 〜びなたでも〜

■参加費 無料

■出演 ちいさな翼 ・二分骨椎症協会 ・共に生きる会 ・健康サポーター JAPAN ・7 Colors of Life ・びりーど ・新先地味 × まちライブラリー ・日本防災士会千葉県支部 ・ピオスの会 ・千葉大学病院患者支援部 ・gente(へん)編集部 ・株式会社住宅支援総合アーサービス ・株式会社プロシードジャパン など

■内容 展示・体験・相談・講座(英語参加)

ホームページ Facebookページもご覧ください。
<https://t.me/rddj>
<https://kaikei-chiba.jp/kagayaiscra>



Rare Disease Day (難病や病氣・難病性疾患の日、以下 RDD)

よりいっしょや命による命、難病性疾患の患者さんや家族の命をとりまわして、スウェーデンで2008年から始まった活動です。日本でも RDD の認知に賛同し、2010年より2月最終日にイベントを開催。

◆お問い合わせ◆

主催：ウエルフェスタ実行委員会(〒460-0009名古屋市中区5-15-2) / 共催：NPO法人千葉西地域包括多職種の会・認知症わかり合いの会「和みかふえ」・介護予防の会「輝」・THOT



CONTENTS

- **事業&活動報告**
 - 2023年度事業について
- **ミニコラムちばさぽの風 Vol.55**
- **登録団体活動紹介コーナー**
- **CatchUp**
- **ちばさぽからのお知らせ**
 - 価格改定のお知らせ
 - 運営協議会開催
 - 専門家による個別相談
- **ちばさぽ玉手箱**

表紙の団体紹介

ウエルフェスタ実行委員会

NPO法人千葉西地域包括多職種の会・認知症わかり合いの会「和みかふえ」・介護予防の会「輝」・THOTで構成された組織で、難病や病氣・障害・認知症の生活に関わる市民活動を紹介します。市民に関心をもってもらうことで、当事者や活動団体への理解促進、支援につながるイベント「RDD&ウエルフェスタ」を毎年2月に開催しています。

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉
 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1
 千葉中央ツインビル2号館9階
 TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082
 Mail：info@chiba-npo.net
 Web：https://chiba-npo.net/
 Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo



〈開館時間〉
 平日・土曜 午前9時～午後9時
 日曜・祝日 午前9時～午後6時

〈休館日〉
 年末年始 (12月29日～1月3日)



千葉市民活動支援センター2023年度の事業について

5年間の指定管理期間の2年目となる今年度も、基本的には前年度と同様の事業を実施します。以下に主な事業の概要をご紹介します。

●「千葉市民活動フェスタ」の開催

市民公益活動の周知や参加の促進、団体どうしの交流等を目的としたイベント「千葉市民活動フェスタ」を開催します。今年度も、公募の実行委員会方式で企画・運営を進めます。



●「ちばさぼ通信」の発行

情報誌「ちばさぼ通信」を年6回発行し、登録団体の他、市内の公共施設や高校、大学等に送付します。センターのホームページ上にもアップロードし、誰でも閲覧できるようにします。

●メールマガジンの配信

登録団体および購読申込者のメールアドレス宛てに、センターの事業案内や施設の運営に関するお知らせ、助成金情報等を記事にしたメールマガジンを、月2回程度配信します。

●情報誌への折り込み「ちばさぼPR便」

センターから情報誌を送付する際に、登録団体が主催する講座やイベントのチラシ、団体紹介資料等の印刷物を同封する、有料のサービス（自主事業）です。

●印刷機の貸出

登録団体の広報物作成支援のため、印刷機（モノクロ）の貸出を有料で行います。利用の予約も受け付けます。料金は改定する場合がありますので、お問合せ下さい。



●ボランティア養成講座「ちばボランティア塾」

ボランティアの養成・市民活動への参加者の拡大を目的とした、6回程度の連続講座を実施します。座学の中に、一部体験を含めたカリキュラムとします。

●市民活動ステップアップ講座

既に活動をしている団体や、団体の設立を考えている人を対象にした、団体の運営や組織力強化等をテーマとした講座を、年に3～4回、1回で完結するプログラムで開催します。

●市民活動交流サロン「ちばさぼ交流サロン」

市民活動（町内自治会活動を含む）に関心のある方が、個人や団体など立場を問わず気軽に交流できる集まりを、年に4回程度、各回で異なるテーマを設定して開催します。



ミニコラム

ちばさぼの風 vol.55

フェアトレードって何ですか

■フェアトレードタウンを目指して

地域社会を構成する多様な主体が一体となってフェアトレードを推進する自治体は「フェアトレードタウン」として認定されており、世界ではロンドン、パリ、サンフランシスコ等2,100以上の都市、日本国内では熊本市、名古屋市、逗子市、浜松市、札幌市、いなべ市の6市が認定されている。

千葉市も、行政・市民団体・企業等が連携しながら、千葉市フェアトレードタウン推進グループを形成し、イベント等を通じてフェアトレード活動を進めている。

■1枚のチョコレートから

私たちが格安のチョコレートを買うと、途中で何が行われるのだろうか。店は仕入れ値を下げるため、卸元に交渉するだろう。卸元は、安く売るために製菓会社に交渉。製菓会社は原料の輸入元に交渉する。輸入元が卸値を下げるには、輸入額を安くせねば会社が潰れるので、生産国の輸出業者に交渉するはずだ。輸出業者は輸出価格を下げるために、カカオの仲買人に交渉する。仲買人はカカオの農場主に、価格を下げるよう圧力をかけるかもしれない。農場主は、仕方がないので労働者の賃金をカットする。賃金が下がると、お父さんの収入だけでは家族を養えなくなるので、仕方なく、息子たちも働きに出るため学校をやめてしまう。

こんなに単純ではないが、こうした「ドミノ倒し」で学校にいけな子供たちは実際にいて、大人になっても文字が読めないために、高い賃金の仕事に就けず、その子どもたちも

また・・・という連鎖が続くのである。

【千葉大生が作った絵本】▶

■誰も泣かせない

フェアトレードとは直訳すると「公平・公正な貿易」。つまり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいう。

ちゃんと賃金を払っている農場から原料を買い、適正な価格で輸出された原料を使って作るチョコレートが、フェアトレード・チョコレートである。

はっきり言って、このように「適正な経路を経た品物」は少々高い。だから、とフェアトレードの活動家は言う。「毎回でなくていいんです。5回に1回くらいは、フェアトレードのマークのついた商品に手を伸ばしてください」

EUの各国では、大手スーパーに並ぶ商品のほとんどにフェアトレードの認証マークがついている。認証マークがないと店舗に並べてもらえないということもあるらしい。【フェアトレードの取り組み】

■千葉市「フェアトレードの取り組みについて」

千葉市のホームページにも、フェアトレードへの取り組みが紹介されている。また、子供たちにも手に取ってもらえそうなパンフレットもダウンロードすることが出来るので、ぜひ参考にしてほしい。

【千葉市フェアトレードタウンを目指して】



登録団体活動紹介コーナー

NPO法人千葉西地域包括多職種の会

活動エリア▶千葉市
所在地▶千葉市花見川区
連絡先▶090-9966-8683 cn.renkei@gmail.com
担当者氏名▶永棟(ながむね)

「高齢者だってできるオンライン仲間づくり」ZOOM講座で集まった仲間たちと月2回オンラインサロンを開催しています。どなたでも参加できます。基本は井戸端会議、テーマを決めたり、参加者が講師になったり、皆さま楽しんでいきます。まずはのぞきにきてください。

- ◆第1・3火曜日
10:00~11:30(無料)
- ◆ZOOMミーティングID
857 7847 1485
- ◆パスコード 1111

皆さまのお越しをお待ちしています。



けやき倶楽部

活動エリア▶千葉大学構内
所在地▶千葉市稲毛区弥生町1-33
連絡先▶chibadaikewayaki@gmail.com
担当者氏名▶若葉 忠良

子どもは千葉大学構内に活動拠点を置いております学習倶楽部です。運営主体というものはなく、会員による自主学習および運営を行っております。現在15のグループがあり(俳句・政治経済・歴史・囲碁など)興味があれば複数のグループに参加することが出来ます。費用は年会費のみです。西千葉の学習室に集まって会話を楽しみ、あるいは発表をし討論する。ぜひ一度HPをご覧ください。



<https://www.keyakiclub.com/>

認知症わかり合いの会「和みかふえ」

活動エリア▶千葉市
所在地▶千葉市美浜区
連絡先▶mae_753@crux.ocn.ne.jp
担当者氏名▶前澤 弘子

認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりに寄与したいと、認知症や介護の話ができ、情報が得られる場(認知症カフェ)の運営を行っています。

5月21日、稲岸公園(稲毛海岸駅徒歩7分)で、初めて屋外で認知症カフェを開催します。コーヒーの販売もあります。広々とした公園で、認知症や介護の話などをしてみませんか。どなたでも参加できます。※雨天中止



フリースペースいちごくらぶ

活動エリア▶千葉市、四街道市
所在地▶千葉市若葉区
連絡先▶090-6708-0316 yoshiaki4082@ezweb.ne.jp
担当者氏名▶大淵 義明

フリースペースいちごくらぶは、障がいのある人や今は家に引きこもっている人が、集まって楽しく過ごす居場所です。ボランティアや地域の人々の協力のもと、毎月第1第3土曜日の午後1時から、都賀コミュニティセンターで開催しています。ゲームや、趣味の活動、カラオケ等を通じて友達をつくろう、そんな集いの場です。詳しくは電話、メールでお問い合わせください。



CatchUp

～“活動部会”の取組紹介～

「フェアトレードフェスタちば2023」開催のお知らせ

複数の登録団体や異なる主体が連携し、共通の目的に向かって活動するのが“活動部会”。複数年にわたり継続的に活動をしている部会の一つである「フェアトレードちば」による取組(イベント開催)の情報をお届けします。

「フェアトレードフェスタちば」は、千葉県でフェアトレード活動を行う個人・団体が集まって一緒にフェアトレードを発信するイベントです。2009年から、世界フェアトレード月間である5月に毎年開催し、フェアトレードを身近に感じていただくきっかけづくりをしています。今年5月27日(土)に「イオンモール幕張新都心」で開催される“会場催事”と、公募団体によって5月中に開催される“公式認定企画”の、主に2つのコンテンツがあります。

■会場催事

- 日時▶2023年5月27日(土) 10:00~17:00
- 会場▶イオンモール幕張新都心グランドコート
- 内容▶フェアトレード団体の出展による活動紹介、販売、ワークショップなど

■公式認定企画

公募団体によって5月中に開催されるさまざまなフェアトレードに関連した企画(オンライン・リアル問わず)を募集。“公式認定企画”とし、ホームページに掲載するなどします。

他にも、抽選でフェアトレード品があたるクイズなどの企画もあります。イベントについて詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.ftchiba.net/festa/2023/>

☆お問合せ先 fteventchiba@gmail.com



ちばさぽ からの お知らせ

■価格改定のお知らせ

千葉市民活動支援センターでは、皆様の活動に役立つよう、印刷機や紙折り機の貸出し、また印刷用紙などの販売を行っています。昨今の諸式の値上がりにより、いくつかの価格について改定のやむなきに至りました。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。新価格は以下のとおりです。

【印刷料金】	製版 1版	150円
	50枚毎のインク代	10円(変更なし)
【印刷用紙】	A4判 1冊(500枚)	450円
	A4色上質紙(500枚)	800円
	A3判 1冊(500枚)	1,200円
	A3判小分け(100枚)	250円

※なお、今後も仕入れ価格の急騰に伴い、予告なく価格を改定させていただくことがあります。何卒ご了承ください。

■運営協議会開催のお知らせ

当センターを有益な施設とし、市民活動を活性化させるため、施設や事業の運営に関する助言や提案を頂く場として運営協議会を実施しています。今年も、より多くの方々からの意見をいただくため、委員の選任は行わず、運営協議会当日に集まった方々を委員とさせていただきます。

今回のテーマは「千葉市民活動フェスタの将来像」。今年度のフェスタのみならず、将来に向けて意見交換をしたいと考えています。フェスタへの興味や意見がある方は、是非ご参加ください。

日時▶6月1日(木) 19:00~20:00

会場▶千葉市民活動支援センター会議室

テーマ▶千葉市民活動フェスタの将来像

定員▶10名(申込み先着順)

対象▶千葉市在住・在勤・在学・在活動の方 参加費▶無料



■「専門家による個別相談」のご案内

市民公益活動に関するお悩みをもつ方を対象に、様々な分野の専門家と、一対一で50分間じっくりと話ができる対面式の個別相談を、2023年度も実施します。相談料は無料。完全予約制となります。相談分野と実施スケジュール、相談員(主な相談対応内容)は以下のとおりです。

【相談分野と実施スケジュール】

曜日	火曜日	土曜日
第1	NPO運営・市民活動入門相談	税理士相談
第2		広報・PR相談
第3	税理士相談	
第4	行政書士相談	NPO運営・市民活動入門相談
第5	コミュニティ相談	コミュニティ相談

※各日18:00~18:50、19:00~19:50の2組限定
※祝日は実施されません。

【相談分野と実施スケジュール】

相談員	主な相談対応内容
●加藤 達郎氏 (税理士相談担当) [加藤達郎税理士事務所]	帳簿付けの基礎、決算書の作成、NPO法人の税務・会計など
●日野 達弥氏 (行政書士相談担当) [日野行政書士事務所]	NPO法人の設立申請、定款や規約の作成、契約書に関することなど
●原田 正隆氏 (NPO運営・市民活動入門相談担当) [株式会社まちづくり千葉]	市民活動団体の立上げ、助成金の申請、ボランティア活動の初歩など
●齋田 清孝氏 (広報・PR相談担当) [一般社団法人かずさーズ]	メディアの活用、SNSによる情報発信、ポスターの工夫など
●樫浦 敏彰氏 (コミュニティ相談担当) [特非] まちづくり千葉]	コミュニティ活動や組織運営、イベント運営のノウハウなど

●お申込み方法

相談日の7日前の17時が申込み締切となります。「専門家による個別相談に申し込み」の旨と以下の項目を、千葉市民活動支援センターまでご連絡ください。

1. 相談分野
2. 相談希望日および時間
3. お名前・団体名(あれば)
4. 連絡先(TELおよびE-mailまたはFAX)



エコとエコ

「エコ」と略する言い方がいつ始まったか定かでないが、昨今は「ecology」と「economy」、二つの意味で使われているようだ。密接に関係しあう二つの概念を、結びつけるような品物を発見。動物のフンを原料とした着火剤だ。商品名はそのものズバリ「ウンチの着火剤」。

名前の通り、草食動物のフンを原料にしている。しっかり乾燥させているので燃やしても臭いはほとんど気にならな

いとのこと。動物園の協力で実現したこのアイデア、まずは原料を提供してくれた動物に感謝だ。キリン、バク、レッサーパンダ、ラマ。パッケージにはその動物の絵が描かれている。屋外で夜、たき火を囲むのはよいものだが、火をおこすのに難儀をしたのでは楽しめない。この着火剤を使って、生物の多様性に思いをはせるのも楽しいのでは。アウトドアブームの中、便利さとユニークさで話題を呼びそうだ。



編集後記

■桜が終わったと思ったら、つつじ、藤、そろそろヒマワリ??? についていくのに必死です(-_-;) (な) ■初夏の陽射しの中で、千葉市役所新庁舎、幕張豊砂駅、千葉公園YohaSアリーナ、続々とフル稼働。躍動感あふれる私たちの千葉市です。(ひ) ■寒暖差の大きな春でした。また今年の夏は暑くなりそうです。健康に留意しながら人生楽しみたいですね。(ふ) ■WBCで侍ジャパンが世界一になりましたね。今年は野球だけでなく、いろいろなスポーツを楽しみたいです。観る専門ですが。(は) ■今年は桜をゆっくり観るタイミングを逃して残念! と思っていたら、実家の北国では今が満開。まだ観るチャンスあり!(り) ■会議室・談話室の利用が徐々に増えています。HPの「施設の予約」から事前に空き状況を確認すると便利です。(よ) ■5月27日・28日は大道芸フェスティバル! 楽しみで夜しか眠れません。お昼寝もしたいの♪(し) ■温暖化のためか今年は桜と藤と一緒に咲いていました。花は楽しいけれど、農作物への影響は??(や) ■千葉市民活動フェスタに向けて実行委員会がスタートしました。みんなで盛り上げましょう!(か)